



オリジナルキャラクター
米の娘ちゃん

米の娘ぶたや
米の娘ちゃんについて
詳細はこちらから



米の娘ぶた
ブランドサイト

こめ こ 米の娘ぶた[®] と申します。

やわらかな肉質と、あっさりとした
甘い脂身で豊かな味わいの
「米の娘ぶた」は山形県に農場を
構える大商金山牧場のブランド豚です。

2013年には「第38回食肉産業展
銘柄ポーク好感度コンテスト
グランドチャンピオン大会」で、
過去10年間で100銘柄が参加した
中から最高賞となるグランドチャンピオン
にも輝きました。

米の娘ぶたを
オンラインで購入！



生肉・食肉加工品
各種お取り扱い
しております

(株)大商金山牧場
カット事業部



ISO22000
FSSC22000 取得

自社農場
米の娘ファーム



中央畜産会
認証第144号

大商金山牧場
TAISHO KANEYAMA FARM

こめこ 米の娘ぶた[®]は こうして生まれ育ちました。



自然豊かな土地で育てるということ

米の娘ぶたのふるさとである山形県金山町は、金山杉に代表される自然豊かな土地で、奥羽山系につながる良質な水脈にも恵まれています。米の娘ぶたが生まれ育った「米の娘ファーム」は、そんな肥沃な大地に根を下ろし、金山町民の皆様のご支援の元、平成20年に稼働を開始しました。平成21年秋には、山形県金山産の新ブランド「米の娘ぶた」を初出荷。「米の娘ぶた」は、長年にわたり自社牧場で健康に育てることにこだわってたくさんの思いが一つになって誕生した自信作です。

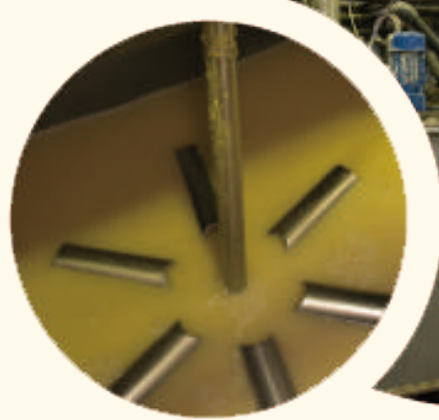


牧場内はいつも清潔！

豚舎は常に清潔を保たないと健康な豚は育ちません。「米の娘ファーム」では、万全な衛生管理を保つため厳しいルールを徹底して守っています。例えば、牧場に入るためには、牧場外で身につけている衣服等をすべて脱いで、全身シャワーで洗い清潔にしてから牧場専用の作業着を着用しないと牧場には入れない仕組みとなっています。また、豚はストレスに非常に敏感な動物です。そのため「米の娘ファーム」のスタッフは、豚の体調管理はもちろんのこと、豚がリラックスして過ごせる環境を作るため日々研究を怠りません。豚舎の温度や湿度などの管理はもちろん、給餌の仕方、飼育グループの作り方、清掃の仕方など、細かな点まで気を使い、健康な豚の飼育に取り組んでいます。

「米の娘ぶた」の高品質を支える食事

「米の娘ぶた」は、名前に「米」とつくように、主にお米とホエー（乳製品を作る時にできる成分）を食べて育ちます。お米とホエーは、母豚の母乳を飲んで元気に育った子豚が離乳を終えてから与えます。またそのままの形で与えるのではなく、混ぜ合わせて液状にしてから「リキッドフィーディング」という方法でコンピューター制御の専用ミキシングマシーンによって、お米やホエーを十分に攪拌して各豚舎へ供給しています。



この方法をとることで流動食による給餌になり豚も食べやすく消化吸収されやすくなります。

また、給餌回数を1日8回と分けて与えており1回の給餌量を抑えることで、肥育豚1頭ごとの個体差を最小限に抑えることができ、健康的で高水準な豚を安定供給できる設備が「米の娘ファーム」には整っています。

大商金山牧場
TAISHO KANEYAMA FARM